

絵画教室の講師

経験豊富な洋画家・日本画家の講師が約20人在籍しています

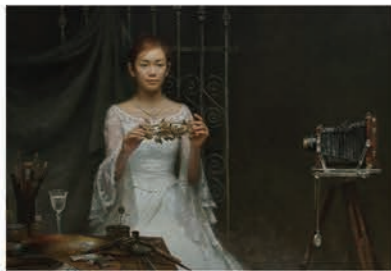


「黄昏のモンサンミッシェル」

日本画
日本美術院 特待 / 愛知県立芸術大学教授

岡田眞治さん

楽しく気持ちよく描けるよう、生徒の個性に合わせた指導が好評



「写真・写真」

洋画 白日会会員 / 日展準会員
曾剣雄さん

曾剣雄さん

2018年7月、写実の描写を追求する曾さんの教室が開講しました



「夢の中」

日本画 日本美術院 院友
安井彩子さん

思いを表現する日本画制作、古典的技法を学ぶ模写、観察眼を鍛えるデッサンや水彩画を中心に指導



Event information

8月29日(水)	歌声喫茶
9月7日(金)	クラシックコンサート(協力:宗次ホール)
9月12日(水)	ソムリエによるワインセミナー
9月14日(金)	ピアノデュオコンサート (西岡あさみ、今泉藍子)
9月20日(木)	ソムリエによるワインセミナー
9月21日(金)	ジャンソンコンサート (協力:カフェ・コンセル・エルム)
9月22日(土)	高北幸矢 はるひ美術館館長 特別講演会 (協力:名古屋画廊)
9月28日(金)	歌声喫茶
9月29日(土)	クラシックコンサート (ソプラノ、ピアノ、ヴァイオリン)

※詳細はWEBのイベントページまで

芸術複合施設アート倶楽部

カルチェ・ラタン

名古屋市中区池下町2-28 休:年末年始を除き無休
総合受付・絵画教室問い合わせ
052-751-8033(9:30~21:30)
https://www.quartier-latin.jp

ゆ く ゆ く は、名古屋の芸術の魅力を発信する場になれたら：

絵画教室は日本画と洋画でアトリエが分かれています。地下1階の洋画アトリエは天井が高く、スポットライトなどの照明器具が充実。モデルや対象物にさまざまな高度・角度から光を当て、自由に陰影をつけられるよう配慮されています。画家の講師陣と相談を重ね、試行錯誤しながら「このような空間で絵を描きたい」と思う「絵を描くための理想的な空間」をつくりました。

現在、約200人の生徒が在籍。なかには京都府や三重県から通う人もいて、年齢層も小学生から高齢者までさまざまです。生徒の半数が初心者か



シェフ
まさよし

小柳優好さん

フランスの星付きレストランやミクニナゴヤで修業し、現在はシェフとして腕を振るっています



パティシエ

本村俊輔さん

2009 ジャパン・ケーキショー東京 <マジパン仕上げデコレーションケーキ部門>で、米国土ア賞・連合会会長賞(最優秀賞)受賞



ソムリエ
のりみ

伊藤典永さん

日本ソムリエ協会認定シニアソムリエ、日本ソムリエ協会 執行役員 愛知支部 支部長 人気ワインセミナーでは講師を務めます

た。夜間はワインバーへと姿を変え、ソムリエが厳選した約150種類のワインを味わえます。屋上テラスで景色を眺めながら食事でもでき、特別なひと時を過ごせます。

らはじめたといいます。講師は愛知県立芸術大学教授をはじめとした、現役で活躍する約20人の画家。さまざまな講師から直接、実践的な指導を受けられると生徒から高い人気があります。趣味で筆を握る人だけでなく、展示会への出品・入選を望む人まで、目的に沿った技術向上を目指せます。

「描くことは自己表現。一度でも趣味に没頭する時間を作っていたら、なかなかに目にする機会がないもの。伝統技法を多くの人に伝えていくことも使命のひとつだと話します。」

音楽活動にも積極的な数多くの催しで文化発信

オープンから4年目を迎えた、カルチェ・ラタン。今後も千種区で文化発信の場として情熱を注ぎます。最高峰とされるスタインウェイのピアノを備えたラウンジでは、音楽コンサートも積極的に開催。吹上の老舗ライブハウス「カフェ・コンセル・エルム」とタイアップしたジャンソン・コンサートや、中区のクラシック専門コンサートホール「宗次ホール」がプロデュースしたクラシックコンサート、大勢で伸び伸びと歌うことを楽しむ歌声喫茶など多彩な催しが人気。アーティストに表現の場を提供し、気軽に音楽が楽しめる場として人々に親しまれています。「東京五輪に向けて外国人観光客は増えていくでしょう。ゆくゆくは、名古屋の芸術の魅力発信する場になれたら」と意気込みます。

文化発信の拠点となるべく、あらゆる分野で芸術に触れられる機会を提供するカルチェ・ラタン。絵画教室は無料体験や見学も随時受け付けており、レストランでは定期的に展示する絵画を入れ替えています。より気軽に芸術を楽しめ、魅力の人々に広めたいという武部さんの思いが館内にはあふれています。

芸術に触れる機会は人生を豊かにする貴重なもの。カルチェ・ラタンに足を踏み入れると、忙しなく流れる時間がゆつくりと感じられるでしょう。



地下1階の洋画アトリエと2階の日本画アトリエは、自習室として常時開放しています



3



1



4



2

1.レンガ調の外観は、行き交う人の目にもすぐ留まります。池下駅から徒歩1分とアクセスがいい場所にあり、向き合いながら、じっくりと描いていきます 3.シェフこだわりのフランス料理。ディナーのほかランチも人気 4.上品で洗練されたインテリアにも注目。ウエディングパーティーも受け付けています

【巻頭特集】

アート倶楽部 カルチェ・ラタン

人々が芸術に触れるひと時を

生涯を通して絵画の魅力を広めることに邁進した、洋画家・小川博史氏。その意思を引き継ぎ、あらゆる分野で文化発信するのがアート倶楽部 カルチェ・ラタンです。絵画教室のほか、フレンチレストランやティーラウンジを併設。各施設には「気軽に芸術を楽しんでほしい」という思いが込められています。

池下駅から徒歩1分 絵画普及に注力する施設

思い描いたイメージを筆に乗せ、作品に没頭できる絵画教室。華やかな料理を楽しみながら、大切な時間を過ごすフレンチレストラン。定期的に音楽コンサートが開かれるティーラウンジ。さまざまな分野で芸術に触れられる場が、池下町のアート倶楽部 カルチェ・ラタンです。設立のきっかけは、画家の小川博史氏。愛知県立芸術大学の教授を務めた洋画家・鬼頭鍋三郎氏に師事し、1952年に「南風会」を立ち上げました。絵画研究に燃える若者が小川氏の画室に集い、自身の展覧会を開こうと意気投合して会は誕生。気鋭の絵画集団として活動を重ね、小川氏が亡くなった現在も続いています。「生前、祖父は南区の自宅で絵画教室を開き、絵を身近なものとして多くの人に伝えてきました」とほほ笑むのは、小川氏の娘で館長の武部志摩子さん。

2014年、池下町に絵画教室を移転し、アート倶楽部 カルチェ・ラタンをオープン。1階にはフレンチレストランを併設しました。腕を振るうのは、フランス料理店「ミクニナゴヤ」や、ミシュランガイドで星付きと評価されたフランスのレストランで修業したシェフ。本格的なコース料理を味わえ、記念日などの利用も人気です。随所に展示された絵画を食事と共に楽しむことができます。3階にはパティシエのスイーツが自慢のティーラウンジをつくりまし